

対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		子育て世帯すこやか祝金支給事業						予算事業名		子育て世帯すこやか祝金支給事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				03	02	01	3001	経常経費						
総合計画体系		みんなで支えあい 安心して暮らせる地域福祉を目指そう						事業の区分		主要事業(6次総非掲載)				
		未来を担う子どもを育む環境づくり												
		地域と協働した子育て環境の充実						担当課係等		子ども福祉課 子育て支援係				
事業期間		継続 (令和 5年度～ 年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
子育て環境の向上を目的として、子どもの1歳及び3歳の誕生日をお祝いし、健やかな成長を願って、祝金を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図る。							子育て支援施策として、近隣市町村において各祝い金支給事業を行う自治体が増えている。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
1歳、3歳の誕生日を迎える児童を養育している保護者に対し、誕生日お祝い金(3万円)を支給し、子育てに奮闘するママパパを支援する。							1歳の誕生日を迎える児童を養育している保護者 3歳の誕生日を迎える児童を養育している保護者							
							【事業をとりまく環境の変化】 近年、原油・物価高騰などの経済状況の急激な変化や少子化や核家族化が進み、子育てに係る経済的負担などが懸念されている。							
【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】						
申請書受領 誕生日祝金の支給				申請書受領 誕生日祝金の支給				申請書受領 誕生日祝金の支給						
■事業費														
				R05年度		R06年度		R07年度		R08年度		R09年度		
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県		支	出	金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地		方		債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そ		の		他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一		般	財	源	17,202	16,362	16,362	16,362	16,362	16,362	16,362	16,362	
歳入計(千円)				17,202		16,362		16,362		16,362		16,362		
歳 出 内 訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)		金額(千円)	
	10	需用費			314		282		282		282		282	
	11	役務費			115		200		200		200		200	
	12	委託料			963		280		280		280		280	
	18	負担金補助及び交付金			15,810		15,600		15,600		15,600		15,600	
歳出計(千円)(A)				17,202		16,362		16,362		16,362		16,362		
伸び率(%)						-4.88		0.00		0.00		0.00		
備考	総合計画 ページ 予算書 95ページ													

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	祝金支給人数	人	目標	580.00	530.00	530.00
			実績	527.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	祝金支給人数	人	目標	580.00	530.00	530.00
			実績	527.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	子育て世帯への経済的負担軽減を図ることができる。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政が行うことが妥当である。
	手段の妥当性	B どちらとも言えない	
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	対象者が限られているため評価は難しい。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
概ね順調に進捗したと思われる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
事業の周知と制度の定着を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））		記入者：池田 祐美
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☒ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開		
☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置		
方向性の具体的内容		
5 年度開始の事業。対象者はほぼ100%申請し、お祝い金の支給に至っている。事業の周知・定着に努めていく。		
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））		記入者：
☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開		
☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置		
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入）		
財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。		